

秋田駅西口駅前広場改修事業
基本計画
(原案)

閱 覧 図 書

閱 覧 期 間 平成30年12月17日～平成31年1月16日

意見書提出期間 平成30年12月17日～平成31年1月16日

秋田駅西口駅前広場改修事業について

1 改修の目的

- 秋田駅西口駅前広場において、J R 東日本が運営を行っている平面駐車場を廃止することなどに伴い、広場内の交通機能の向上や県都の玄関口にふさわしい環境空間として、平成 3 2 年の春までに既存の駐車場周辺を整備するものである。

2 秋田駅および西口周辺の各種計画の動向

- 秋田駅および西口周辺においては、民間による整備として、平成 25 年に完成した秋田駅西口バスターミナルを皮切りに、秋田駅観光拠点がリニューアルされて大きく様変わりし、さらには、A B S 秋田放送の新社屋建設工事が実施されているほか、現在市で都市計画道路千秋久保田町線などの事業を行っており、官民による整備事業が着実に進展している。

3 駐車場周辺の現状と課題

(1) 現状（秋田駅西口駅前広場南側区域：約 4,600 m²）

①土地所有 秋 田 市：駅前広場の西側

（駐車場、水辺の広場、歩道等：約 2,600 m²）

J R 秋田支社：駅前広場の東側

（駐車場、一般送迎車両ロータリー、歩道：約 2,000 m²）

②管理協定 駅前広場駐車場の市所有地部分については、J R 秋田支社に貸し付け、本市との管理協定に基づき同社が一体的に運営している。

※駐車場全体面積：約 1,700 m² 内貸付面積：約 1,280 m²

J R 秋田支社では、トピコ・アルス第 1 駐車場が従前の駐車台数 105 台から 228 台へと増設整備（平成 29 年 4 月 1 日開設）され、平面駐車場（55 台分）の役割は終えたとの判断から、市に返還の意向を示している。

(2) 現有施設の課題

- 一般送迎車両ロータリーの曲率半径が小さく、曲がりきれない
- 駅前における環境空間の不足
- 歩道部分の既存融雪施設の老朽化

4 スケジュール

平成 30 年

7 月 基本計画・基本設計業務委託の契約

9 月 第 1 回検討委員会で改修素案の検討（車両動線の検討）

11 月 第 2 回検討委員会で改修原案の検討（車両動線の修正案・環境空間の整備方針）

12 月 11 月市議会定例会において改修原案の説明

パブリックコメントの実施

平成 31 年

1 月 第 3 回検討委員会で改修計画案の検討

2 月 2 月市議会定例会において改修計画案を説明、当初予算の上程（実施設計および改修工事費）
改修計画の決定

5 月 実施設計業務委託の契約

9 月 改修工事の契約

平成 32 年

3 月 改修工事の完成

景観計画図

ひろびろとした芝生広場と大きな縁台のある空間のイメージ

対向する道路の線形をそろえ、
交差点形状を改良する

市道 中通本線

既存街路樹 (ケヤキ)

軒下空間と広場をつなぐ
大型の木製縁台
(ベンチやステージとして利用)

ウッド舗装

高低差のある築山

芝生広場

既存街路樹 (ケヤキ)

インターロッキングブロックによる舗装

ABS緑地

W=3.0m

インターロッキング
ブロックによる舗装
(融雪機能あり)

ABS駐車場
非常時出入口

立体駐車場出入口

駐車場出入口との距離を
離し、安全性を向上させる

乗降車スペース 計6台分

インターロッキングブロックによる舗装(融雪機能あり)

